

令和7年山形県教育委員会7月定例会

令和7年7月24日
県庁舎教育委員室

1 開 会 午後2時

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 報 告

(1) 県立高校県外生受入れ推進事業の進捗状況について

(高校教育課高校未来創造室)

(2) 令和8年度震災による福島県等からの山形県立高等学校への受検に係る実施要項について (高校教育課)

5 議 題

議第1号 山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について (教職員課)

議第2号 山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について (教職員課)

議第3号 令和8年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学者募集について (高校教育課、特別支援教育課)

議第4号 山形県社会教育委員の解嘱及び委嘱について (生涯教育・学習振興課)

議第5号 教職員の人事について (教職員課)

6 閉 会



高畠高校



遊佐高校



庄内総合高校

2025年 やまがた留学 高校見学 バスツアー



庄内農業高校



加茂水産高校

ご旅行代金 **無料**
交通費助成あり



←ツアーの詳細
お申込みはこちら

※ご自宅から集合場所および解散場所までの全コース



村山産業高校



谷地高校



新庄志誠館高校最上校
(R7年度まで新庄北高校最上校)



小国高校



新庄神室産業高校金山校
(R7年度まで新庄南高校金山校)



長井工業高校

やまがた留学とは



住んでいる都道府県の枠を超えて、自分の興味関心にあった山形県の県立高校を選択し、高校3年間をその地域で過ごす制度です。少人数かつ、地域に開かれた教育の中で、多様な経験と挑戦の機会が高校生ひとりひとりの個性と自立心を育みます。

バスツアー概要



山形県外にお住いの中学生及び保護者様を対象に、県外から生徒募集を実施する県立高校の魅力あふれた取り組みをはじめ、山形県の豊かな自然・歴史・文化・食などを案内するバスツアーです。中学生と保護者1名ずつ2名1組でお申込みください。

おきたま 置賜コース	7/30水-31木	小国高校・高畠高校・長井工業高校
むらやま・もがみ 村山・最上コースA	7/31木-8/1金	新庄神室産業高校金山校 (R7年度まで新庄南高校金山校) 村山産業高校
むらやま・もがみ 村山・最上コースB	7/28月-29火	新庄志誠館高校最上校 (R7年度まで新庄北高校最上校) 谷地高校
しょうない 庄内コースA	8/4月-5火	庄内総合高校・遊佐高校
しょうない 庄内コースB	8/6水-7木	庄内農業高校・加茂水産高校

日付	場所	時間	行程	食事	宿泊地
置賜コース	7/30 (水) 7/31 (木)	JR米沢駅 小国町	12:00 JR米沢駅集合、貸切バスで移動 13:30 小国高校見学 18:30 寮・地域見学・マタギ文化体験 宿泊施設で夕食	朝 × 昼 × 夕 ○	【小野川温泉】 湯社 匠味庵 山川 (和室)
		米沢市 高島町 長井市 米沢市	7:45 宿泊施設出発、貸切バスで移動 8:30 高島高校見学 11:00 昼食 13:00 長井工業高校見学 16:00 JR米沢駅解散	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×	

日付	場所・時間・行程	食事	宿泊地	
村山・最上コースA	7/31 (木) 8/1 (金)	12:00 JR山形駅集合、貸切バスで移動 14:30 新庄神室産業高校金山校見学 (R7年度まで新庄南高校金山校) 寮・地域見学 18:00 宿泊施設で夕食	朝 × 昼 × 夕 ○	【金山温泉】 ホテルシェーネ スパイム金山 (洋室ツイン)
	8/30 10:00 12:00 13:30 16:30	宿泊施設出発、貸切バスで移動 村山産業高校 昼食 地域見学 JR山形駅解散	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×	

日付	場所・時間・行程	食事	宿泊地	
村山・最上コースB	7/28 (月) 7/29 (火)	12:00 JR山形駅集合、貸切バスで移動 14:30 新庄志誠館高校最上校見学 (R7年度まで新庄北高校最上校) 寮・地域見学 18:00 宿泊施設で夕食	朝 × 昼 × 夕 ○	【赤倉温泉】 わらべ唄の宿 湯の原 (和室) または 【瀬見温泉】 ゆめみの宿 観松館 (和室)
	8/30 10:00 12:00 16:30	宿泊施設出発、貸切バスで移動 谷地高校見学 昼食 地域見学 JR山形駅解散	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×	

日付	場所・時間・行程	食事	宿泊地	
庄内コースA	8/4 (月) 8/5 (火)	12:30 JR鶴岡駅集合、貸切バスで移動 13:30 遊佐高校見学 寮・地域見学 18:00 宿泊施設で夕食	朝 × 昼 × 夕 ○	【鳥海温泉】 遊楽里 (和室または洋室ツイン)
	9:00 10:00 12:30 14:00 16:00	宿泊施設出発、貸切バスで移動 庄内総合高校見学 昼食 地域見学 JR鶴岡駅解散	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×	

日付	場所・時間・行程	食事	宿泊地	
庄内コースB	8/6 (水) 8/7 (木)	10:30 JR鶴岡駅集合、貸切バスで移動 11:00 庄内農業高校見学 13:00 昼食 15:00 加茂水族館 (入場観光) 18:00 宿泊施設で夕食	朝 × 昼 ○ 夕 ○	【湯野浜温泉】 テトラリゾート 鶴岡 (和室)
	9:00 9:30 12:30 14:00 16:00	宿泊施設出発、貸切バスで移動 加茂水産高校見学 昼食 致道館 (下車観光) JR鶴岡駅解散	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×	

募集要項 **お申込み方法**

- 旅行代金：無料
 - 募集人員：原則各コース中学生1名・保護者1名の2名1組 先着30組60名
 - ※各コース定員に達し次第申込受付終了になります。申込受付は7月18日まで
 - 最少催行人員：各コース2名 (1組2名様)
 - 兄弟等での中学生2名・保護者1名/中学生1名・保護者2名の3名1組での申込も可能です。
 - ※追加の中学生のご旅行代金は無料になりますが追加の保護者は旅行代金をお支払いいただきます。追加保護者の申し込みは別チラシをご覧ください
 - 添乗員：各コース1名同行いたします。
- 表面の二次元バーコードを読み取り、応募フォームの内容に沿って必要事項をご入力ください。
- 当社からの回答連絡をもって参加受付となります。
- キャンセルの際は、必ずご連絡ください。各コースの出発前日までに無連絡不参加の場合は旅費実費をご請求する場合があります。
- 3名1組での申込の方は応募の際に必ず申し出てください。別途ご連絡いたします。

旅行代金について **旅行代金に含まれるもの**

当ツアーは「山形県立高校県外生受け入れ推進事業」の一環で実施するため、事業費から旅行代金が負担されます。なお当ツアーの実施は、日程表に記載する集合場所から解散場所までとし、旅行業法における募集型企画旅行契約の適用となります。※追加の保護者分は旅行代金無料の対象外となります。追加保護者の申し込みは別チラシをご覧ください

・宿泊費 (1組2名1室1泊分)
・貸切バス代：利用予定バス会社/赤湯観光バス、山交バス、松山観光バス
・食事代 (朝食1回、昼食1回、夕食1回) ※庄内Bコースのみ昼食2回
【注】アレルギーをお持ちの方は申込時にご相談ください。
・体験費用、観光入場料

ご自宅から当ツアーの集合場所まで、また解散場所からご自宅までの交通手段はお客様ご自身で手配ください。バスツアーとは別に1名につき補助率1/2 (片道分)、上限20,000円が山形県より補助されますので、ツアー終了後に精算いたします。詳細は参加申し込みサイトをご参照ください。 ※追加の保護者分は交通費補助の対象外となります。

ご注意

- 山形県外在住中学1～3年生及び義務教育学校7～9年生の生徒1名と保護者1名の原則2名1組での参加となります。
- 原則すべての行程に参加いただきます。
- ツアー終了後アンケートにご回答いただきます。
- ツアー中の様子をカメラ等で撮影し利用します。その著作権はすべて山形県に帰属します。
- ツアー中に取材依頼に対応いただく場合がございます。
- 台風、豪雨等や感染症の急拡大、現地事情等によって実施内容の変更または中止する場合がございます。
- このご旅行には、全参加者に対して次の内容の保険を山形県がサービス付保しております。
- 【国内旅行傷害保険熱中症補償プラン (自宅/帰宅型)：死亡・後遺障害保険金額1,000万円、入院保険金日額10,000円、手術保険金 (入金保険金の10倍ないしは5倍)、通院保険金日額5,000円、賠償責任保険金額3,000万円、携行品損害保険金額15万円、救援者費用等145万円】

旅行条件<要約> 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡します。事前にご確認の上お申込みください。
本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。
この条件に定めのない事項は、当社旅行業約款 (募集型企画旅行契約の部) によります。当社旅行業約款は当社ホームページからご覧いただけます。

①当ツアーは、東武トップツアーズ株式会社山形支店 (以下、当社) が企画・実施するもので、当ツアーに参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約 (以下「旅行契約」といいます。) を締結することになります。旅行契約の内容、条件は、当パンフレットの記載内容および別途お渡しの旅行条件書、確定書面 (クーポン類または最終日程表) ならびに当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。②当ツアーの旅行契約はお客様からのお申込みを受け、当社が契約の締結を承諾した際に成立いたします。③当バスツアーに含まれるもの・・・上記行程表に記載されている貸切バス代・宿泊費・〇印で記載する食事代・各見学施設入場料、体験費用。④当ツアーに含まれないもの・・・山形県内集合・解散場所からご自宅までの交通費、X印で記載する食事代。⑤当ツアーの取消料は発生しません。キャンセルされる場合は必ず前日までにご連絡をお願いいたします。⑥旅程補償・・・当ツアーはご旅行代金無料のため、当社旅行業約款【募集型企画旅行契約の部】第29条第1項に掲げる旅程補償規約は適用外となります。⑦個人情報取扱いについて：旅行申し込みの際に提出頂いた個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただく他、お客様がお申込みいただいた旅行において、運送、宿泊機関、手配代行等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用します。また、「アンケート」のお願い「キャンペーンのご案内」その他 DM 等の発送にも利用させていただく場合があります。このパンフレットは、2025年6月11日現在を基準としております。

【旅行企画・実施 / お申込み・お問い合わせ】 **山形支店** 担当者：上野・佐藤・菊地
山形市香澄町2丁目2番31号カーニョープレイス山形7F
電話：050-9001-8583 FAX：023-641-1019
営業時間/平日：9:30～17:30 休業日/土・日・祝日

東武トップツアーズ株式会社 東25-152

観光庁長官登録旅行業第38号 一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員 総合旅行業務取扱管理者：鈴木 洋輔
旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、遠慮なく旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

山形県立高等学校全国募集のご案内

YAMAGATA RYUGAKU

たがま がた まが た や ま が た 留 学 ス メ ス

もうひとつの「日本」、
もうひとつの「ふるさと」で
新たな出会いと新しい自分を
見つけよう

まちに学ぶ、ひとに学ぶ、自然に学ぶ

Topics

山形県立高校
ポータルサイト



各校のショートムービーも
公開中!

Guide

山形県教育委員会

山形県って こんなトコ

豊かで雄大な

自然



山形県は、東北地方の日本海側に位置し、東京から概ね北に300km、山形新幹線で約3時間の距離にあり、一般には、全国生産量の7割を占める「さくらんぼ」と鮮やかな四季で知られています。

そこでは、人の住む集落、市街地と農地や里山が綾をなし、自然と人間が調和して存在する、「もう一つの日本」が広がっています。



蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日と秀麗な山々に囲まれ、南から連なる米沢、山形、新庄の各盆地と庄内平野を母なる川「最上川」が流れる、美しい自然に恵まれています。

四季折々に豊かな表情があり、「春」は桜、「夏」は県花である紅花、「秋」は田畑の実りと紅葉、「冬」は世界でも珍しい樹氷があります。



1.鳥海山(遊佐町・酒田市等) 2.紅花(山形市・河北町・白鷹町等)
3.ブナヤカエデ等(朝日町) 4.最上川舟下り(戸沢村)

【人口】 **1,015,413人**
(令和6年5月1日現在)

【面積】 **9,323.15km²**

pick up!

やまがたへの旅
山形県公式観光サイト



出羽三山信仰と

「三関三渡」

生まれかわりの旅

出羽三山は「月山」「羽黒山」「湯殿山」の総称であり、「西の伊勢参り」に対して、湯殿山を中心とした「東の奥参り」と言われるほど、厚い信仰がありました。

出羽百観音

最上、庄内、置賜の3つの地域にそれぞれ三十三観音があり、詣で祈る人の願いに寄り添い、三十三の姿となってこれを救うとされ、あわせて「出羽百観音」と呼ばれています。

脈々と受け継がれる

精神文化



1.山伏修行[峰入り](鶴岡市)
2.湯殿山神社(鶴岡市) 3.若松寺(天童市)

YAMAGATA RYUGAKU GUIDE

01 山形県のハイポイント

やまがたのうまいもの

美食美酒



1.さくらんぼ
2.米沢牛

山形県は全国有数の米どころであるほか、他にも果物、牛肉などの肉類、海産物と多くの食材が揃っており、多様な食材と特徴的な食文化が楽しめます。70年以上ものあいだ「日本の最高気温」一位を保持していたため「冷やしラーメン」などの「冷やし文化」が根付いています。



ブランド米
[つや姫]

冷やし
ラーメン

数字で
みる

山形の日本一

三世同居率

出典：令和2年国勢調査(総務省)

13.9%

全国の数値4.2%

ラーメンへの年間支出額(外食)(一世帯当たり)

出典：家計調査(二人以上の世帯、令和3年~令和5年平均)(総務省)※山形市の数値

14,741円

全国の数値6,664円

さくらんぼ収穫量

出典：作物統計調査/作況調査(果樹)令和5年度(第1報)(農林水産省)

13,000t

全国の数値17,300t

滝の数(落差5m以上)

出典：平成元年度第3回自然環境保全基礎調査(環境省)

230ヶ所

全国の数値2,488ヶ所

西洋なし収穫量

出典：作物統計調査/作況調査(果樹)令和5年度(第1報)(農林水産省)

13,200t

全国の数値19,700t

日本一の芋煮会フェスティバル

直径6.5mの日本一の
大鍋を使った芋煮会!

全国での位置づけ

全47都道府県

幸福度ランキング
(2022年版)

総合 **7位**

選挙投票率(国政選挙) 全国 **1位**
63.0%(H29.10.22~R3.10.21執行)

食料自給率 全国 **3位**
カロリーベースで145%

健康診査受診率 全国 **2位**
65.2%

常設映画館数 全国 **2位**
人口100万人あたり49.3面

正規雇用者比率 全国 **1位**
71.1%

持ち家比率 全国 **3位**
74.0%

待機児童率の低さ 全国 **1位**
0.00%

一人暮らし高齢者率の低さ 全国 **1位**
12.1%

不登校児童生徒率の低さ 全国 **2位**
1.56%

社会教育費 全国 **6位**
一人あたり20,541円

公立高等学校費 全国 **11位**
生徒一人あたり130.2万円

高等学校教育費(全日制) 全国 **12位**
生徒一人あたり144.9万円

ボランティア活動の年間行動者率 全国 **6位**
23.6%

「やまがた留学」の意義と魅力

山形には、厳しくも美しい、四季折々の雄大な自然があります。そのもとで生まれ、特徴のある歴史と文化に彩られた、農山漁村をはじめとする多彩で豊かなまちがあります。そこに暮らし、地域の課題に挑戦する、魅力あふれるひとがいます。**山形ならではの自然・まち・ひととの出会いと学びは、きっと、新たな環境に踏み出したい、自分のやりたいことを見つけたい、新しい自分を発見したい皆さんの「成長の糧[かて]」となる。**そう信じています。

異なる環境で育った仲間や、立場・世代を超えた多様な人々と関わることで、多くの価値観に触れ、視野の広がりやコミュニケーション能力の向上が期待されます。また、小規模な学校では一人ひとりの果たす役割も増え、主体性や責任感が育まれます。**皆さんが本来持っている、個性や生きる力、可能性をさらに伸ばせるよう、学校・地域みんなで応援します。**やまがたは、皆さんの留学をお待ちしています。

県外志願者受入れ制度による
入学者実績



山形県立高校の豊かな学びと環境

Point 1

好奇心を駆り立てる探究型学習

人口減少や地域活性化、環境など、地域や世界を取り巻く問題について、生徒自らが課題設定し、「自分ごと」として向き合い、課題解決を図る学習をすべての県立高校で実施しています。

探究活動を通じて、思考力・判断力・表現力等の育成を目指します。



Point 2

地域・産業界との連携・協力

探究型学習等における地域のバックアップ、専門高校(農業/工業/商業)と自治体・企業・大学等の連携による共同研究などの専門的・実践的な産業教育、企業への長期インターンシップ等によるキャリア教育など、地域が一丸となって人材を育てる体制を構築しています。



Point 3

学びが変わる充実したICT環境

すべての生徒に1人1台タブレットを無償配布するとともに、普通教室への電子黒板等の配備、自宅学習を支援するポケットWi-Fiを貸与するなど、ICT環境の強化を進めています。

また、遠隔授業の本格導入による学びの充実に向け、モデル校での研究・実証を展開中です。



経験者からの メッセージ

わたしが「やまがた」の 高校を選んだ理由 & 高校生活で感じたこと

遊佐高等学校

【総合学科3年】

今西 詩さん [大阪府出身]

中学校3年生の時に、体験プログラムに参加しました。もともと人と話すことがあまり得意ではありませんでしたが、コーディネーターの方が話を引き出してきて、きちんと話すことができたという手応えがありました。3年間、遊佐高校で過ごせば、コミュニケーション能力がメッチャ上がるのではないかと、思いました。

生徒数が多かったら自分は委員会活動をやらないと思うのですが、遊佐高校は生徒数が少ないので、文化委員をしています。学校祭のTシャツには私のデザインが採用され、とても嬉しいです。また、デュアル実践という授業があって、週1回、地元のパン屋さんに通勤しています。



職場の人と話す機会が多いので、視野が広がりました。将来はカフェを開きたいと思っていたのですが、いまは雑貨屋さんもいいなと思っています。



小国 高等学校

【普通科卒業生】

塚原 朱李さん [東京都出身]

私は幼い頃、両親に連れられて自然の中で多くの時間を過ごしました。中学時代に進路について考えていた時に小国高校を知り、緑近くに感じながら過ごせることは願ってもない機会だと感じ、進学を決めました。ここでは自分に正直でいられると感じています。地域での学びを通してたくさんの方々から人生についての話を聞けることは貴重な経験です。小国町での日々が私を形作る大切な要素となり、確実に自分の能力に変換されていることを実感しています。

一步踏み出せば、新しい世界が目の前に現れ、好奇心と挑戦心を駆り立てられることばかりです。「行きたい!」という自分の心の声に従って、ぜひ越境してください。

新庄南高等学校

金山校【普通科2年】

齋藤 駿さん [神奈川県出身]

私が金山校入学を決めた理由は二つあって、父の母校であり、父が青春を過ごした場所で高校時代を過ごしてみたかったから、また、息がつまりそうな都会と違って、自然豊かな金山町に住みたかったからです。伸び伸びと自分のペースで高校時代を送るには最適な環境だと思います。

親元を離れての寮生活での初めての一人暮らしに不安もあったのですが、入学当初から友達ができ毎日が楽しいです。日々の学習と金山校での一生の友達を大切に充実した高校生活を送れるよう、委員会や係、学校行事なども責任をもって積極的に頑張っています。



Shonai
01

山形県立
遊佐高等学校
【総合学科】

〒999-8301 飽海郡遊佐町遊佐字堅田21-1

0234-72-3422 [事務室]

http://www.yuza-h.ed.jp/

MAIL: yyuza@pref-yamagata.ed.jp



▶ 学校の特徴

自分のやりたいことって何だろう。自分の得意なことって何だろう。様々な活動や遊佐高校にしかない授業を通して、人生を幸せに生きていくための力を身につけていく3年間になります。先生は生徒一人ひとりの様子を丁寧にしながら、全員が卒業までしっかり成長できるように支援します。



▶ 地域との連携

2年次の4月から半年間、地元にある企業にインターンシップに行きます。毎週水曜日、企業に通勤し、実際に働いてみることで、仕事を知り、社会を知り、自分を深く掘り下げる経験ができます。「デュアル実践」という、遊佐高校にしかない授業です。お楽しみに。

▶ 魅力的な部活動

イチオシの部活は「遊佐みらい部」!町をフィールドに自分のやってみたい企画、興味のある事、好きなことに挑戦していく部活動です。地域のイベントやボランティアへの参加、自分でプロジェクトを企画するなど、様々な実践をしていきます。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 70名(1年32・2年18・3年20)
卒業生の進路[R6] 進学8名
(大学2/短大1/専修学校5)
就職11名 他2名
県外生の住まい 寮あり(学校から徒歩15分)

県外生への支援 ■就学支援金 ■医療費無料 ■帰省費用の補助 ■資格の受講料や自動車免許取得への補助 など

Shonai
02

山形県立
庄内総合高等学校
【全日制総合学科】

〒999-7707

東田川郡庄内町廿六木字三ツ車8

0234-43-2138 [事務室]

https://www.shonaisogo-h.ed.jp/

MAIL: yshonaiso@pref-yamagata.ed.jp



▶ 学校の特徴

2年次から「スポーツ・芸術」、「ライフクリエイティブ・教養(家庭科)」、「産業クリエイティブ(工業・商業)」の3系列に分かれて学びます。専門の先生から、実践的な学びを少人数で受ける事ができます。また、地域で活躍しているその道のプロの方々から指導頂けることも魅力です。

▶ 特色のある行事 / 地域との連携

生徒総会では、「庄総ミーティング」を行っています。全校生徒をグループに分けて学校行事などをテーマに意見を出し合います。検定取得の検定料補助や町営バスが無料になるなど町の支援事業もあります。



▶ 魅力的な部活動

体操部は、平成10年から令和6年までインターハイに26年連続出場し、過去には種目別優勝や上位入賞を果たしています。卒業後は多くの部員が大学に進学して、競技生活を続けています。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 118名(1年36・2年37・3年45)
卒業生の進路[R6] 進学23名
(大学7/短大3/大学校4/専修学校9)
就職29名
県外生の住まい 下宿・アパート等

県外生への支援 ■検定取得料補助 ■町営バス無料化 など

Shonai
03

山形県立
加茂水産高等学校
【水産科】

〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩595

0235-33-3031 [事務室]

http://www.kamosuisan-h.ed.jp/

MAIL: ykamo@pref-yamagata.ed.jp



▶ 学校の特徴

県内唯一の水産科を設置し、海のスペシャリストを目指す学校です。校舎の目の前に広がる海、第二の校舎でもある実習船「鳥海丸」など、教室の中だけでなく、地元地域を学びのフィールドとしてアクティブに学習します。近隣の加茂水族館と連携した独自科目「水族館学概論」もあります。船、海洋資源、水産物の加工など幅広い分野について、実習を通して学んでいきます。また、海技士、小型船舶をはじめ、様々な資格取得にチャレンジできます。

▶ 特色のある行事

毎年5月1日に行われる水開きをはじめ、カッターレース大会、水高祭、シーサイドフェスティバル、水納めなど、水産高校ならではの多くの行事があります。また、1年生は、実習船「鳥海丸」に乗船し、3泊4日で函館への体験航海を実施します。



▶ 魅力的な部活動

インターハイにも出場している相撲部やヨット部をはじめ、水産生物部、ダイビング部など、海の間近だからこそ体験できる部活動も充実しています。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 59名(1年22・2年20・3年17)
卒業生の進路[R6] 進学6名
(大学1/専修学校5)
就職13名
県外生の住まい 下宿・アパート等



▶ 学校の特徴

農業高校生ならではの学びがここにある!食料生産科と食品科学科の2本立て。農業のスペシャリストと農業のコーディネータ、そしてSHONOのインフルエンサーを育成中。特別なことをしなくても、毎日の活動の中に、進学・就職へのきっかけや糧が溢れています。台湾の姉妹校とは相互訪問を繰り返す十年來のお付き合い。当然、修学旅行も台湾!



▶ 特色のある行事

SHONOサイコー!SHONOさ行ご!創立記念駅伝大会は町内がサーキット場。地域住民の熱い声援で気分はオリンピック。収穫感謝祭は自分で収穫した農産物で山形名物芋煮会。学校祭では地域を巻き込んだ巨大な貼り絵が大人気!

▶ 魅力的な部活動 / その他の活動

運動部、文化部、農業部と3系統!任意加入制ですが、ほとんどの生徒が部活動に加入して青春を謳歌しています。また、外部での個人活動も応援します。農業部加工班(通称うどん部)が作る「幻の庄農うどん」は地域で人気沸騰中!



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 114名(1年34・2年41・3年39)
 卒業生の進路[R6] 進学16名
 〈大学4 / 短大2 / 専修学校10〉
 就職25名
 県外生の住まい 下宿・アパート等

Shonai
 04

山形県立
 庄内農業高等学校
 【農業科】

〒999-7601 鶴岡市藤島古橋跡221

0235-64-2151 [事務室]

<https://www.shonai-ah.ed.jp/>

MAIL : yshonaino@pref-yamagata.ed.jp



▶ 学校の特徴

学習の3つのモデル(教養充実・スペシャリスト・生活創造)を設け、進路に応じた科目選択ができます。学校設定教科「金山タイム」では、地元の方が講師となり、世界の文化や匠の技を学びます。「最上学」や総合的な探究の時間を通し、地域の諸課題や進路に関連したテーマで研究する探究学習にも力を入れています。

▶ 特色のある行事 / 地域との連携

新庄南高校本校との合同マラソン大会や、金山町と連携した高校生模擬議会、「金山町フォーラム」などに取り組んでいます。

▶ 魅力的な部活動 / その他の活動

スキー部、バドミントン部、総合文化部、軽スポーツ/ボランティア部があります。スキー部(クロスカントリー)は長年全国を舞台に活躍し、令和5年度インターハイでは男子リレー3位入賞を果たしています。地域研究サークルでは、学校や地域の魅力を発信しています。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 34名(1年12・2年15・3年7)
 卒業生の進路[R6] 進学4名
 〈大学1 / 短大1 / 専修学校2〉
 就職8名
 県外生の住まい 寮あり(学校から徒歩5分)

県外生への支援 ■寮の運営管理費・食費補助
 ■医療費補助 ■帰省費用の補助 など

Mogami
 05

山形県立
 新庄神室産業高等学校
 金山校【普通科】

※令和7年度まで新庄南高等学校 金山校
 〒999-5402 最上郡金山町大字金山248-2

0233-52-2887 [事務室]

<https://www.kaneyama-h.com/>

MAIL : ykaneyama@pref.yamagata.jp



▶ 学校の特徴

自然豊かな環境にあり、小規模校ならではの個々に寄り添った教育を受けることができます。ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業で、生徒一人ひとりの細やかな指導を大切にしています。3年生は進路希望に合わせて進学・教養・福祉の3コースに分かれ、福祉コースでは介護職員初任者研修課程の資格が取得できます。学校行事、生徒会、部活動、ボランティアなど、様々な場面で皆が主役になる機会があります。

▶ 特色のある行事 / 地域との連携

保護者と生徒と一緒に作りあげて親子の絆を深める親子ふれあい大運動会や、他学年との交流を深めみんなが活躍できる最上校マラソン大会、文化祭など、歴史と伝統がある行事がたくさんあります。「最上祭り」神輿渡御への参加や除雪ボランティアなど、地域に根差した活動も盛んです。

▶ 魅力的な部活動

地域活動部として3つのグループが活躍しています。活動班は地域ボランティアを中心に活動し、スポーツ班は様々なスポーツやトレーニングで身体を鍛え、健康維持に励んでいます。木と音の会は町が普及している創作楽器を使った演奏等を行っています。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 40名(1年12・2年14・3年14)
 卒業生の進路[R6] 就職7名 他1名
 県外生の住まい 寮あり(学校から徒歩10分)

県外生への支援 ■帰省費用の補助
 ■医療費補助 など

Mogami
 06

山形県立
 新庄志誠館高等学校
 最上校【普通科】

※令和7年度まで新庄北高等学校 最上校
 〒999-6101

最上郡最上町大字向町字水上869-2

0233-43-4083 [事務室]

<https://www.shinjokita-h-b.ed.jp/>

MAIL : yshinkitamogami@pref-yamagata.ed.jp



Murayama
07

山形県立
村山産業高等学校
【農業科／工業科／商業科】

〒995-0011 村山市楯岡北町1-3-1

0237-55-2538 [事務室]

<https://www.murayama-ih.ed.jp/>

MAIL: ymurayama@pref-yamagata.ed.jp



▶ **学校の特徴**

ワクワクする実践的な学びがいっぱいの学校です!農業、工業、商業の各学科で、将来に役立つ専門のスキルを最新の設備を使って楽しく身につけられます。地域を学びのフィールドに、自分の成長を実感できる場所で、夢に向かってチャレンジしたい君にぴったりです!

▶ **特色のある行事 / 地域との連携**

地域と一体となって取り組む「ムラサンキタマチマルシェ」という2,500人以上が来場するイベントを開催しています。地域の事業者や農家の方々と一緒に、各学科の特色を活かした販売やワークショップを運営し、地域社会とのつながりを深めながら、実践的なコミュニケーション能力などを身につけます。

▶ **魅力的な部活動**

全国大会に出場している山岳部や自転車競技部、郷土芸能である「むらやま徳内ばやし」を地域などで披露する又新連部、各専門学科の学びを深化させる専門系部活動が5つもあり、楽しく充実した学校生活が送れます!



※校 - DATA -

全校生徒数[R7] 296名(1年99・2年95・3年102)
卒業生の進路[R6] 進学47名
(大学12 / 短大1 / 専修学校34)
就職48名 他1名
県外生の住まい 市内宿泊施設(R7~)・アパート

県外生への支援 ■ 宿泊施設: 宿泊費補助・食事提供・送迎あり ■ アパート: 家賃補助 など

Murayama
08

山形県立
谷地高等学校
【普通科】

〒999-3511 西村山郡河北町谷地字田中170

0237-71-1157 [事務室]

<http://www.yachi-h.ed.jp/>

MAIL: yyachi@pref-yamagata.ed.jp



▶ **学校の特徴**

小さいながらも活力ある明るい学校を目指しています。一人ひとりの進路希望の達成に向けた全教職員による支援体制と、個々の進路に対応したきめ細やかな指導で、進路実現を全力でサポートします。生徒も、『『や』るぞ!』『ち』からの限り』の合言葉のもと、伸びやかに授業や部活動、生徒会活動に取り組んでいます。



▶ **特色のある行事 / 地域との連携**

3年生の体育の授業には社交ダンスを取り入れ、一流の指導者を講師に迎えて楽しみながらダンスの技術を学んでいます。地域との連携・協働にも力を入れています。町・地域商社との「かほく探求実践プロジェクト」では、町内バスツアーの企画実施、オリジナル日本酒づくり、酒かす石鹸づくりなどに取り組んでいます。



▶ **魅力的な部活動**

カヌー部は毎年インターハイ等で優勝しています。令和5年度インターハイでは男女合わせて7種目の優勝を含む15種目入賞、学校対抗男女アベック優勝(2連覇)し、まさに「日本一」のカヌー部です。



※校 - DATA -

全校生徒数[R7] 128名(1年40・2年54・3年34)
卒業生の進路[R6] 進学58名
(大学17 / 短大11 / 専修学校30)
就職10名
県外生の住まい 下宿・アパート等

県外生への支援 ■ 就学応援券(商品券) ■ 賃貸住宅等費用支援 など

Murayama
09

山形県立
山形北高等学校
【音楽科】

〒990-0041 山形市緑町2-2-7

023-622-3505 [事務室]

<http://www.yamagatakitah-h.ed.jp/>

MAIL: yyamakita@pref-yamagata.ed.jp



▶ **学校の特徴**

本校音楽科は北海道・東北地方唯一の公立高校音楽科です。卒業生は1,800名を超え、東北近県はもちろん、海外でも活躍する優秀な人材を輩出しています。また、広いコンサートホールをはじめ、防音・冷暖房設備など東北各県の中でも有数の恵まれた環境のもと、生徒一人ひとりが音楽的資質を更に伸ばそうと学習に励んでいます。音楽科と普通科を併置しており、互いに技術を磨き合いながら、地域の社会と文化を支える人材を育成しています。

▶ **特色のある行事**

4月にソロとアンサンブルによる演奏会、6月に定期演奏会、12月にクリスマスコンサート、1月にファイナルリトルコンサートなどの各種演奏会を実施し、山形県の音楽文化を支えています。



※校 - DATA -

全校生徒数[R7] 514名(※音楽科49名)
(1年177・2年168・3年169)
卒業生の進路[R6] 進学159名
(大学135 / 短大8 / 専修学校16)
公務員・就職5名 他6名
※音楽科 進学17名
(上記の内数) (大学14 / 専修学校3)
他1名



挑め、ともに!

▶ 学校の特徴

小国高校は、四季折々の自然が美しい小国町にあり、コミュニティ・スクールとして地域のサポートを受けながら、一人ひとりが輝ける環境が整っています。全校生の4人に1人が県外出身です。全国から来た仲間とのたくさんの出会いや新たな経験が、主体性・挑戦心・協働力を育みます。

▶ 特色のある行事 / 地域との連携

7月に全国高等学校小規模校サミットを主催します。全校生が一丸となって企画・運営を行い、日本中の小規模校の未来を語ります。3年間にわたる「白い森未来探究学」では、地域で活躍している人々から学ぶことで、未来を切り拓く力が身につきます。



▶ 放課後・休日の過ごし方

放課後は校内や町の様々なサークルに参加できます。スポーツはもちろん、畑・フォト・武道・和太鼓など世代を越えた交流は地域との絆を深め、新たな発見や学びを与えてくれます。その他、海外研修旅行、米国短期留学、大学と連携した研究活動等にも挑戦できます。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 62名(1年20・2年19・3年23)
卒業生の進路[R6] 進学15名
(大学6/専修学校8/その他1)
就職9名
県外生の住まい 寮あり(学校から徒歩15分)

県外生への支援 ■ 寮・下宿の家賃補助 ■ 帰省費用への補助 ■ 留学生サポーターによる支援 など

Ohitama 10

山形県立
小国高等学校
【普通科】

〒999-1352 西置賜郡小国町大字岩井沢621

0238-62-2054 [事務室]

<http://www.ygt-oguni-h.ed.jp/>

MAIL : yoguni@pref-yamagata.ed.jp



▶ 学校の特徴

3つの系列をもつ総合学科で、人文系や社会科学、自然科学系だけでなく、保育・福祉・農業・観光、看護やリハビリの進学・就職に対応できます。進路希望や興味関心に合わせて系列を選択し、知識や技能と共に卒業後の具体的なビジョンを育みます。

▶ 特色のある行事 / 地域との連携

クラスマッチ・学園祭・合唱コンクールが三大行事となっており、大いに盛り上がります。また、高畠町のお祭り「青竹ちようちんまつり」、「冬咲きぼたんまつり」に参加して地域の人と交流し、町の文化を学びながら高畠高校の良さを知っていただいています。



▶ 魅力的な部活動 / その他の活動

7つの運動部と4つの文化部が積極的に活動しています。フェンシング部は高校から始める人がほとんどですが、全国大会・東北大会に出場しています。「高畠ゼミ」は、町や中学校と連携し、東京大学フィールドスタディの協力のもと、町や高校の魅力を再発見・発信する活動をしています。また、シングルトンハイスクール(オーストラリア)と姉妹校の盟約を交わしており、毎年数名の生徒がシングルトンを訪れ、現地の高校生と交流しています。

学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 137名(1年45・2年59・3年33)
卒業生の進路[R6] 進学26名
(大学10/短大4/専修学校12)
就職15名 他2名
県外生の住まい 下宿・アパート等

県外生への支援 ■ 就学支援金 ■ デマンド車両での送迎 ■ JR通学定期の補助 など

Ohitama 11

山形県立
高畠高等学校
【総合学科】

〒992-0334

東置賜郡高畠町大字一本柳2788

0238-58-5401 [事務室]

<http://www.takahata-h.ed.jp/>

MAIL : ytakahata@pref-yamagata.ed.jp



▶ 学校の特徴

製造業の盛んな長井市で、「長工生よ、地域を潤す源流となれ!」というスローガンのもと、機械科・電子科・福祉環境科の3学科で、ものづくりを通じた人材育成を行っています。学校から徒歩1分の山形鉄道あやめ公園駅はかつての在校生が建設しました。各種資格・検定への取組みも積極的で指導体制も充実しており、毎年多くの生徒が社会で役立つ国家資格を取得しています。

▶ 特色のある行事 / 地域との連携

地域住民や企業等と密接につながり、学校そばのあやめ公園の清掃ボランティアや工場見学、インターンシップ(職場体験活動)、全校課題研究発表会などの各種行事を展開しています。長期休業中は地元企業のアルバイト斡旋もあり、実際に働いて社会人の皆さんのアドバイスを得ながら進路選択について深く考えることができます。



▶ 魅力的な部活動 / その他の活動

各学科で開設している工作部では、専門分野に特化したものづくりや各種資格取得、コンテスト出場、ボランティア活動などに取り組んでいます。



学校 - DATA -

全校生徒数[R7] 144名(1年51・2年46・3年47)
卒業生の進路[R6] 進学27名
(大学7/短大1/専修学校17/職能2)
就職34名
県外生の住まい 下宿・アパートなど(現在準備中)

Ohitama 12

山形県立
長井工業高等学校
【工業科】

〒993-0051

長井市幸町9-17

0238-84-1662 [事務室]

<https://nagai-th.ed.jp/>

MAIL : ynagaiko@pref.yamagata.jp



やまがた留学 [県外からの志願者受入れ制度]のステップ

留学スタート!

Step1.

気になる学校のことを情報収集しよう!

県外生受入れ対象校の情報を、本パンフレットや「県立高校ポータルサイト」、各校のホームページなどで調べてみよう。

Step2.

学校説明会・イベントに参加しよう!

県外生受入れ対象校が開催する、学校説明会やオープンスクール、体験入学などに参加してみよう。説明会への参加や学校との事前面談が必要な学校もあるので注意。

Step3.

志望校の願書を取り寄せよう!

志望校が決まったら、出願に間に合うように各校の願書を手しよう。

【主な提出書類】

- ▶ 願書
- ▶ 中学校の調査書
- ▶ 入学後の住まいと世話人に係る届出書
- ▶ 地元公立高校に志願しない旨の中学校からの証明書

Step4.

入学者選抜出願・受検

① 前期(特色)選抜

願書受付	1月上旬
検査等	A日程1月中旬 B日程2月上旬
選抜内定	A日程1月下旬 B日程2月中旬
合格発表	3月中旬

② 後期(一般)選抜

願書受付	2月中旬 ~下旬
学力検査等	3月上旬
合格発表	3月中旬

Q1. 地元の高校との併願は可能ですか？

A1. 地元の公立高校との併願はできません。なお、都道府県により事情が異なることがありますので、在籍する中学校、お住まいの都道府県の教育委員会へご相談ください。

Q2. 身元引受人[世話人]は必要ですか？

A2. 生徒のみが山形に移り住む場合は必要です。一般的には親族の方となりますが、親族がいない場合は、受入れ校が窓口となって紹介することが可能な場合もありますので、事前に受入れ校へお問い合わせください。

Q3. 下宿先は自分で探すのでしょうか？

A3. 志願者・保護者の方がご自身で探すこともできますが、受入れ校が窓口となって紹介することが可能な場合もありますので、事前に受入れ校へお問い合わせください。

Q4. 保護者が学校に来るタイミングは？

A4. 3月下旬に実施する受入れ校の入学前説明会(オリエンテーション)には、保護者等の方の同伴をお願いします。懇談会や行事等は学校により異なるため、受入れ校にお問い合わせください。

Q5. 学校見学に行きたいのですが？

A5. 例年、7~10月頃にかけて、中学生や保護者等を対象とした学校説明会・体験入学・オープンスクールが開催されていますので、受入れ校にお問い合わせください。

Q6. 出願・受検前にしておくことはありますか？

A6. 志願者・保護者の方は、出願を考えている学校を事前に訪問・見学することをお勧めします。学校や下宿先、地域の様子、移動手段や経費などを確認してください。



県外生受け入れ校一覧

〈庄内地域〉

遊佐高等学校 01

庄内総合高等学校 02

加茂水産高等学校 03

庄内農業高等学校 04

〈置賜地域〉

小国高等学校 10

高畠高等学校 11

長井工業高等学校 12

〈最上地域〉

05 新庄神室産業高等学校 金山校
※令和7年度まで新庄南高等学校 金山校

06 新庄志誠館高等学校 最上校
※令和7年度まで新庄北高等学校 最上校

〈村山地域〉

07 村山産業高等学校

08 谷地高等学校

09 山形北高等学校

※受入対象校は令和8年度入学者選抜時点になります。年度ごとに対象校の増減がありますので、最新情報はホームページをご確認ください。

【やまがた留学〈県外からの志願者受入れ制度〉の詳しい情報はウェブで!】

県立高校ポータルサイト

やまがた県立高校NEWS

山形県ホームページ [県外募集]

お問い合わせ

023-630-3026

山形県教育局 高校教育課

令和8年度震災による福島県等からの山形県立高等学校への受検に係る実施要項

1 目的

- (1) 震災の影響により、山形県（以下、「本県」という）内の小学校あるいは中学校等に入学又は転学した者が、令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜において県立高等学校を受検しようとする際に、円滑かつ公正な受検に資する。
- (2) 原発事故等の影響により、他県から本県の県立高等学校の受検を希望する中学生及び本県の中学生が安心して受検できる入学者選抜制度に資する。

2 本実施要項において対象となる者（以下、「対象者」という）

本県又は本県以外の中学校等を卒業見込みの者で、以下の項目のいずれかに該当する者とする。

- (1) 震災で罹災した者、又は罹災地域に居住しており、地域環境の悪化等により通常の生活を営めず避難に及んだ者
- (2) 福島第一原子力発電所の20キロ圏内に居住しており避難に及んだ者又は、その付近に居住しており、原発事故による放射線の影響のため地域環境が悪化し、避難を余儀なくされた者
- (3) 福島県内の居住地から、放射線の影響により避難をした者

3 入学者選抜に係る措置

(1) 定員を超える合格者の認定

令和8年度入学者選抜において、対象者が受検する県立高等学校にあつては、あらかじめ1学級当たりの上限を45名以内に定め、合格者を認定できるものとする。

(2) 志願の制限

① 対象者の住民登録については以下のとおりとする。

ア 他県の中学校等を卒業見込みの対象者が本県の県立高等学校を受検しようとする場合は、入学までに、本県に住民登録を行うものとする。

イ 本県の中学校等を卒業見込みの対象者が本県の県立高等学校を受検しようとする場合は、本県内への住民登録を条件としない。この場合、在籍中学校等の所在地を受検者の現住所とみなし、本県の学区制に従い受検できるものとする。

② 学区外志願の認定については以下のとおりとする。

ア 本県以外から本県の県立高等学校の志願を許可する基準は「一家転住等」である。

イ 対象者であっても、保護者と同居をしない転住（本人のみの転居等）については志願を許可しない。ただし、保護者の認定については弾力的に対応するものとする。

③ 区域外就学により本県の中学校等を卒業見込みの者が本県以外の公立高等学校に入学を志願する場合も、「山形県公立高等学校に志願しない旨の届」（別記様式第3号D）を本県教育委員会教育長に1部提出すること。

(3) 前期（特色）選抜

- ① 令和8年3月に本県の中学校等を卒業見込みの対象者は、前期（特色）選抜の志願資格があるものとし、本県への住民登録を条件としない。
- ② 震災の影響により受検者が増加した場合は、県立高等学校で定める前期（特色）選抜の募集人員より合格内定者を多く認定することができる。

(4) 後期（一般）選抜

- ① 対象者の合否の判断については、後期（一般）選抜における選抜方法により判断する。
- ② 合格者の認定に当たっては、本県の受検者が入学定員を超えて合格しないようにすること。

4 配慮事項

- (1) 入学定員の上限については、3(1)により県立高等学校長が判断できるものとするが、合格発表に先立って上限を公表することはしない。
- (2) 対象者の調査書情報については、その扱いについて配慮する。
- (3) 対象者の面接等については、質問の内容について配慮する。

5 その他

- (1) 県立高等学校長は中学校等校長に対して、受検者が対象者であるか確認を求めることができる。中学校等校長は、対象生徒についての証明を別紙により志願先高等学校長あて提出する。
- (2) 県立高等学校長は、対象者の志願及び合格（内定）状況を、高校教育課長に報告しなければならない。
- (3) 本実施要項は、令和8年度入学者選抜に対応したものであり、令和9年度以降の入学者選抜については、避難者の推移等を参考のうえ別途対応する。

証 明 書

令和 年 月 日

高等学校長 殿

学 校 名

校 長 氏 名

印

貴校に志願した下記の者は、震災等の影響による避難のため、本校に在籍している生徒であることを証明します。

記

生徒氏名	山形県への転入前の住所	備考

「山形県への転入前の住所」については、震災の影響により本県に避難する前の住所を記載する。なお、本県に住民登録をしておらず、調査書の住所と同じである場合も記載する。

「備考」には、本県への転入の事情について、「震災による罹災」「避難区域」「自主避難」など簡潔に記載すること。

議第 1 号

山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則等の一部
を改正する規則の制定について

山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則等の一部を改正する規則を次のように制定する。

山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則等の一部
を改正する規則

(山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則の一部改正)

第1条 山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則(昭和40年4月県教育委員会規則第3号)の一部を次のように改正する。

第12条第10項中「、勤務時間の開始の時刻から連続し、又は勤務時間の終了の時刻まで連続した」を削る。

第12条の2第2項中「介護時間は、1日を通じ、勤務時間の開始の時刻から連続し、又は勤務時間の終了の時刻まで連続した2時間(」を削り、「の規定による部分休業」を「に規定する第1号部分休業」に、「日に」を「日の介護時間に」に、「当該」を「、1日につき」に、「)を」を「を」に改める。

第13条の次に次の1条を加える。

(対象職員に対する措置を講じる期間)

第13条の2 条例第16条の4第2項の県教育委員会が定める期間は、同項に規定する対象学校職員の子が1歳11か月に達する日の翌々日から2歳11か月に達する日の翌日までの1年間とする。

別記様式第6号(第1面)及び(第2面)中

午前 時 分～ 時 分
午後 時 分～ 時 分

を

「

時 分～ 時 分
時 分～ 時 分

に改め、同様式(第3面)中

午前 時 分～ 時 分
午後 時 分～ 時 分

」

を

時 分～ 時 分
時 分～ 時 分

に改める。

」

(市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則の一部改正)

第2条 市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則（昭和31年11月県教育委員会規則第13号）の一部を次のように改正する。

第1条の2中「第13条」を「第13条、第13条の2」に改める。

附 則

- 1 この規則は、令和7年10月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にある第1条の規定による改正前の山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則別記様式第6号の規定による用紙については、当分の間、使用することができる。

提 案 理 由

介護休暇及び介護時間の取得要件の拡大等に伴い規定を整備するため提案するものである。

令和7年7月24日提出

山形県教育委員会

教育長 須 貝 英 彦

第1条関係（山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則）新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(介護休暇)</p> <p>第12条 1～9 ー略ー</p> <p>10 1時間を単位とする介護休暇は、1日を通じ、<u>勤務時間の開始の時刻から連続し、又は勤務時間の終了の時刻まで連続した4時間</u>（当該介護休暇と要介護者を異にする介護時間の承認を受けて勤務しない時間がある日については、当該4時間から当該介護時間の承認を受けて勤務しない時間を減じた時間）を超えない範囲内の時間とする。</p>	<p>(介護休暇)</p> <p>第12条 1～9 ー略ー</p> <p>10 1時間を単位とする介護休暇は、1日を通じ4時間（当該介護休暇と要介護者を異にする介護時間の承認を受けて勤務しない時間がある日については、当該4時間から当該介護時間の承認を受けて勤務しない時間を減じた時間）を超えない範囲内の時間とする。</p>
<p>(介護時間)</p> <p>第12条の2 ー略ー</p> <p>2 <u>介護時間は、1日を通じ、勤務時間の開始の時刻から連続し、又は勤務時間の終了の時刻まで連続した2時間</u>（育児休業条例第33条第1項の規定による部分休業の承認を受けて勤務しない時間がある日については、当該2時間から当該部分休業の承認を受けて勤務しない時間を減じた時間）<u>を超えない範囲内の時間とする。</u></p>	<p>(介護時間)</p> <p>第12条の2 ー略ー</p> <p>2 <u>育児休業条例第33条第1項に規定する第1号部分休業の承認を受けて勤務しない時間がある日の介護時間については、1日につき2時間から当該部分休業の承認を受けて勤務しない時間を減じた時間</u><u>を超えない範囲内の時間とする。</u></p>
<p>(新設)</p>	<p>(対象職員に対する措置を講じる期間)</p> <p>第13条の2 <u>条例第16条の4第2項の県教育委員会</u><u>が定める期間は、同項に規定する対象学校職員の子が1歳11か月に達する日の翌々日から2歳11か月に達する日の翌日までの1年間とする。</u></p>

(第3面)

※休暇の取消し等の期間				※ 本人確認	確 認	備 考
年	月	日	時 間			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			
年	月	日から	午前 時 分～ 時 分			
年	月	日まで	午後 時 分～ 時 分			

(※印の欄は学校職員が記入又は確認する。)

(第3面)

※休暇の取消し等の期間				※ 本人確認	確 認	備 考
年	月	日	時 間			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			
年	月	日から	時 分～ 時 分			
年	月	日まで	時 分～ 時 分			

(※印の欄は学校職員が記入又は確認する。)

第2条関係（市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則）新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第1条の2 職員の勤務時間及び休暇等については、この規則に定めるもののほか、山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則（昭和40年4月県教育委員会規則第3号）の規定を準用する。この場合において、同規則第3条第5項、第4条第4項及び第5項、第4条の2第4号、第4条の3の2、第4条の3の3第5項、第4条の3の4第2項及び第4項から第6項まで、第4条の5（同規則第4条の7において準用する場合を含む。）、第4条の6第3項（同規則第4条の7において準用する場合を含む。）、第4条の8（同規則第4条の10において準用する場合を含む。）、第4条の9第3項（同規則第4条の10において準用する場合を含む。）、第6条第2項、第12条第3項から第7項まで、<u>第13条</u>、第15条、第17条第1項、第3項及び第4項、第19条並びに別表その他の項第2号、第3号、第6号の2（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）、第7号、第10号（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）、第12号（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）及び第13号（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）の規定中「県教育委員会」とあるのは、「市町村教育委員会」と、第4条の3の3第1項、第3項及び第4項の規定中「県教育委員会又は」とあるのは、「市町村教育委員会又は」と読み替えるものとする。</p>	<p>第1条の2 職員の勤務時間及び休暇等については、この規則に定めるもののほか、山形県立学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例施行規則（昭和40年4月県教育委員会規則第3号）の規定を準用する。この場合において、同規則第3条第5項、第4条第4項及び第5項、第4条の2第4号、第4条の3の2、第4条の3の3第5項、第4条の3の4第2項及び第4項から第6項まで、第4条の5（同規則第4条の7において準用する場合を含む。）、第4条の6第3項（同規則第4条の7において準用する場合を含む。）、第4条の8（同規則第4条の10において準用する場合を含む。）、第4条の9第3項（同規則第4条の10において準用する場合を含む。）、第6条第2項、第12条第3項から第7項まで、<u>第13条</u>、<u>第13条の2</u>、第15条、第17条第1項、第3項及び第4項、第19条並びに別表その他の項第2号、第3号、第6号の2（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）、第7号、第10号（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）、第12号（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）及び第13号（同号申請をするときに提出すべき書類の欄に限る。）の規定中「県教育委員会」とあるのは、「市町村教育委員会」と、第4条の3の3第1項、第3項及び第4項の規定中「県教育委員会又は」とあるのは、「市町村教育委員会又は」と読み替えるものとする。</p>

議第 2 号

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則
 山形県立高等学校管理運営規則（昭和 41 年 4 月県教育委員会規則第 3 号）の一部
 を次のように改正する。

別表第 1 中

「

同 新庄北高等学校 最上校	普 通 普 通		160 40	普 通		夜 40
同 新庄南高等学校 金山校	普 通 普 通	総合ビジ ネス	80 40	募集停止		
同 新庄神室産業高等学校 真室川校	農 業 工 業 商 業 普 通	食料生産 農産活用 機械電気 環境デザ イン ビジネス 創造	40 40 40 40 40 40			

を

「

同 新庄志誠館高等学校 最上校	普 通 理 数 国 際 普 通	理数探究 国際探究	120 40 40 40	普 通		夜 40
同 新庄神室産業高等学校 金山校 真室川校	農 業 工 業 商 業 普 通 普 通	食料生産 農産活用 機械電気 環境デザ イン ビジネス 創造	40 40 40 40 40 40 40			

に、

」

同 米沢鶴城高等学校	工 業	機械加工	40	総 合		夜 40
		機械制御	40			
		電気情報	40			
		建 築	40			
		環境工学	40			
	商 業	総合ビジ ネス	40			
		会計情報	40			

を

同 米沢鶴城高等学校	工 業	機械加工	40	総 合		午前 40
		機械制御	40			
		電気情報	40			
		建 築	40			
		環境工学	40			
	商 業	総合ビジ ネス	40			
		会計情報	40			

に、

同 置賜農業高等学校	農 業	生物生産	募集停止			
		園芸福祉	募集停止			
		食料環境	募集停止			
		食料生産	40			
		経営				
		農業資源 活用	40			

を

同 置賜農業高等学校	農 業	食料生産	40			
		経営				
		農業資源 活用	40			

に改める。

附 則
この規則は、令和8年4月1日から施行する。

提 案 理 由
令和8年度高等学校再編整備計画に伴う学科改編及び入学定員の変更を行うため
提案するものである。

令和7年7月24日提出

山形県教育委員会
教育長 須 貝 英 彦

議第 3 号

令和 8 年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の
入学者募集について

令和 8 年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学者を別紙
のとおり募集する。

提 案 理 由

令和 8 年度における山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学
者の募集を行う必要があるため提案するものである。

令和 7 年 7 月 24 日提出

山形県教育委員会

教育長 須 貝 英 彦

1 山形県立高等学校全日制の課程及び定時制の課程

学校名	全日制の課程			定時制の課程		特記
	設置学科	入学定員	設置学科	入学定員		
山形県立山形東高等学校	普通 探究	160 80	理数探究、国際探究			理数探究科と国際探究科をあわせて、探究科として募集する。
同 山形南高等学校	普通 理数	200 40				
同 山形西高等学校	普通	200				
同 山形北高等学校	普通 音楽	160 40				
同 山形工業高等学校	工業	40 40 40 40 40	機 械 技 術 電 気 電 子 情 報 技 術 建 築 土 木 ・ 化 学			
同 山形中央高等学校	普通 体育	160 80	ス ポ ー ツ			
同 霞城学園高等学校				普 通	午前 40 午後 40 夜 40	
同 上山明新館高等学校	普通 農業 商業	160 40 40	食 料 生 産 情 報 経 営			
同 天童高等学校	総合	120				
同 山辺高等学校	家庭 看護	40 40 40	食 物 福 祉 看 護			
同 寒河江高等学校	普通	200				普通科一般コース160名、普通科探究コース40名をそれぞれ募集する。
同 寒河江工業高等学校	工業	40 40 40	メカニカルエンジニア ロボットエンジニア I T エ ン ジ ニ ア			
同 谷地高等学校	普通	80				
同 左沢高等学校	総合	40				
同 村山産業高等学校	農業 工業 商業	40 40 40 40 40	農 業 経 営 み ど り 活 用 機 械 電 子 情 報 流 通 ビ ジ ネ ス			
同 東桜学館高等学校	普通	200				入学定員に併設型中学校からの入学者数も含む。
同 北村山高等学校	総合	120				
同 新庄志誠館高等学校	普通 探究	120 80		普 通	夜 40	理数探究科と国際探究科をあわせて、探究科として募集する。
最 上 校	普通	40				
同 新庄神室産業高等学校	農業 工業 商業	40 40 40 40 40	食 料 生 産 農 産 活 用 機 械 電 気 環 境 デ ザ イン ビ ジ ネ ス 創 造			
金 山 校	普通	40				
真 室 川 校	普通	40				

学 校 名	全 日 制 の 課 程			定 時 制 の 課 程		特 記
	設 置 学 科	入 学 定 員	設 置 学 科	入 学 定 員		
同 米沢興譲館高等学校	普通 探究	120 80				理数探究科と国際探究科をあ わせて、探究科として募集す る。
同 米沢東高等学校	普通	160				
同 米沢鶴城高等学校	工業 機械加工 機械制御 電気情報 建築 環境工学 商業 総合ビジネス 会計情報	40 40 40 40 40 40 40	総 合		午前 40	全日制の課程において、機械 加工科と機械制御科、建築科と 環境工学科、総合ビジネス科と 会計情報科は、それぞれまとめ て募集する。
同 置賜農業高等学校	農業	40 40				
同 南陽高等学校	普通	160				
同 高島高等学校	総合	80				
同 長井高等学校	普通	200				普通科一般コース160名、普通 科探究コース40名をそれぞれ募 集する。
同 長井工業高等学校	工業 機械 電気 福祉環境	40 40 40				
同 荒砥高等学校	総合	40				
同 小国高等学校	普通	40				
同 致道館高等学校	普通 理数	200 80				
同 鶴岡工業高等学校	工業 電気電子 情報通信 建築 環境化学	40 40 40 40 40				
同 鶴岡中央高等学校	普通 総合	120 120				
同 加茂水産高等学校	水産	40				
同 庄内農業高等学校	農業 食料生産 食品科学	40 40				
同 庄内総合高等学校	総合	80	総 合		昼 40	
同 酒田東高等学校	普通 探究	120 80				理数探究科と国際探究科をあ わせて、探究科として募集す る。
同 酒田西高等学校	普通	120	普 通		午前 40	
同 酒田光陵高等学校	普通 工業 機械制御 電気電子 環境技術 商業 ビジネス流通 ビジネス会計 情報	80 40 40 40 40 40 40				
同 遊佐高等学校	総合	40				
合 計		6240			280	

※山形東高等学校、新庄志誠館高等学校、米沢興譲館高等学校、酒田東高等学校の「探究科」は、理数に関する
学科である理数探究科と国際関係に関する学科である国際探究科を合わせて募集する場合の総称として記載し
ています。

2 山形県立高等学校通信制の課程

学 校 名	設置学科	入学定員
山形県立霞城学園高等学校	普 通	120
	服 飾	40
同 庄内総合高等学校	普 通	80

3 山形県立特別支援学校の高等部

学 校 名	受入れ区域	設置学科	入学定員
山形県立山形盲学校	県下一円	普 通	若干名
		保健理療	若干名
同 山形聾学校	県下一円	普 通	若干名
同 山形養護学校	県下一円	普 通	14
同 米沢養護学校	【総合コース】米沢市、南陽市、高島町、川西町 【就労コース】米沢市、南陽市、高島町、川西町、長井市、小国町、白鷹町、飯豊町	普 通	22
同 米沢養護学校西置賜校	長井市、小国町、白鷹町、飯豊町	普 通	11
同 ゆきわり養護学校	県下一円	普 通	若干名
同 鶴岡養護学校	鶴岡市、庄内町、三川町	普 通	14
同 酒田特別支援学校	酒田市、遊佐町	普 通	14
同 新庄養護学校	【総合コース】新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村 【就労コース】総合コース同様	普 通	22
同 村山特別支援学校	山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町	普 通	11
同 楯岡特別支援学校	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町	普 通	11
同 楯岡特別支援学校大江校	寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町	普 通	11
同 上山高等養護学校	山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町	普 通	24
同 鶴岡高等養護学校	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町	普 通	16

(注) 受入れ区域について特別な事情がある場合には、県教育委員会が調整する。

4 山形県立高等学校専攻科

学 校 名	設置学科	入学定員
山形県立山辺高等学校	看 護	40

5 山形県立特別支援学校の高等部専攻科

学 校 名	受入れ区域	設置学科	入学定員
山形県立山形盲学校	県下一円	理 療	若干名
同 山形聾学校	県下一円	商業技術 生産技術	若干名 若干名